

製品名: リン酸化 LRP6 (S1490) (10R3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe05936**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	180kDa

抗原情報

遺伝子名	LRP6
別名	Low-density lipoprotein receptor-related protein 7;
遺伝子 ID	4040.0
SwissProt ID	O75581
免疫原	ヒト LRP6 の Ser1490 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

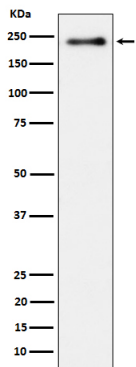
背景

7 回膜貫通型受容体である frizzled ファミリーのメンバーと共受容体として機能し、Wnt タンパク質 (PubMed:11336703、PubMed:11448771、PubMed:15778503、PubMed:11719191、PubMed:15908424、PubMed:16252235) によるシグナル伝達を担う。Wnt-Fzd-LRP5-LRP6 複合体の構成要素であり、受容体-リガンド複合体をリポソームサイズのシグナルソームへと凝集させることで β -カテニンシグナル伝達を誘導する。骨形成において極めて重要な役割を果たす Wnt/ β -カテニンシグナル伝達の細胞表面共受容体。Wnt 誘導性の Fzd/LRP6 共受容体複合体は DVL1 ポリマーを細胞膜へリクルートし、DVL1 ポリマーは AXIN1/GSK3B 複合体を細胞表面にリクルートすることでシグナルソームの形成を促進し、AXIN1/GSK3 を介した β -カテニンのリン酸化と分解を阻害する。胚葉形成期における上胚葉後部のパターン形成に必須である (類似性に基づく)。

研究分野

-

画像データ



カリキュリン細胞溶解物で処理した heLa 細胞における Phospho-LRP6 (S1490) 発現のウエスタンブロット分析。